



TCU-COM

p.01 後援会副会長挨拶

p.02 平成24年度「大学と保護者との連絡会」取材レポート

p.05 平成24年度 就職動向と支援

p.09 キャンパスSpot⑱

p.11 クラブ活動紹介③⑩

p.17 Campus Topics

p.19 平成24年度「大学と保護者との連絡会」実施結果

後援会副会長挨拶

基礎知識を身につける

後援会副会長を務めさせて頂いております西垣です。保護者の方々ならびに大学関係者の方々には日ごろから多大なるご支援をいただきありがとうございます。私自身30年ほど前に本学を卒業した1人であり、愛着をもってこのような要職を務めさせて頂いております。

さて、昨今の日本経済は震災からの復興で明るさが見え始めた矢先に、新興国も含めたグローバルな波に洗われ憂慮せざるをえない状況にあります。そのような状況において企業が学生に期待している事について述べたいと思います。

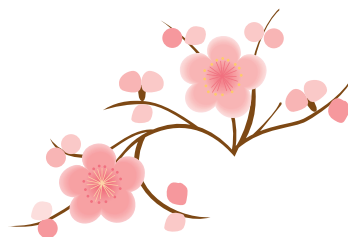
全ての企業が同じ事を期待している訳ではありませんが、殆どの会社は、当然の事かもしれませんが基礎知識、技術をしっかりと身につけている学生を期待しています。会社は配属された業務分野で最初からベテランと同様に仕事の出来る人は期待していません。そのような人材もいないでしょう。そのため会社は基礎知識をしっかりと身につけている学生を欲していて、配属された業務分野でそれらを応用していく力を期待しています。ですから学生諸君には在学中に基礎知識をつけてもらいたいのです。これはひたすら勉強しろと言っているわけではありません。勉強や実験、レポートも重要ですが、クラブ活動に励んだり、飲みに行って情報収集力や交流術を高める事も重要です。学園祭で模擬店などを出店し、お金を稼ぐ事がいかに大変かを知る事も重要な基礎知識の1つですね。私自身4年生の時、研究室で模擬店を出す事を提案し、研究室全員から出資金を集めて焼鳥屋をやりました。低コストで食材を仕入れる方法や売上を上げる工夫をみんなで考えながら商売した結果、黒字となりました。今になってみればいい勉強だったのだと思います。

私の経験は一例ですが、後援会としても学生諸君の基礎知識を高めるために精いっぱい協力をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



東京都市大学
後援会副会長

西垣 昌司



平成24年度

「大学と保護者との連絡会」

取材レポート

取材担当: 京都市大学新聞会



ご好評を得ている「大学と保護者との連絡会」が、後援会と大学の共催により全国各地で実施されました。平成24年度は、10月20日(土)に行われた世田谷、等々力、横浜の3キャンパスでの連絡会をもって全スケジュールを無事に終了。3キャンパスの連絡会に参加された保護者の皆さまの感想などをまじえ、当日の様様をご紹介します。

「大学と保護者との連絡会」は、後援会と大学の共催で毎年開催している歴史ある行事。学生指導に深く関わる教職員が全国各地の会場に向かい、大学の現況や学生生活の様様、最新の就職状況などを説明するとともに、保護者の方々からの疑問・質問に回答する、「双方向」の連絡会です。

平成24年度は全国17会場で開催後、10月20日、3キャンパスでの連絡会で閉幕。当日の東京・横浜地区は秋らしく過ごしやすい気温ということもあり、世田谷に約1200名、横浜に約400名、等々力に約230名の方がご参集くださいました。なお、前回は震災の影響もあり、開催日を2日に分け、スケジュールも短縮しましたが、今年は例年通り3キャンパスとも学食の試食会やキャンパス見学を実施。「子どもが毎日を過ごす大学の雰囲気がよくわかった」と好評でした。

世田谷
キャンパス

**全体説明会が行われたサクラ
センター内のアリーナは満員!
熱心にメモを取る保護者の姿も**

世田谷キャンパスでは受付開始時間である午前11時よりも早い時間から多くの保護者が来場されました。受付を済ませて、まず14号館1階の学生食堂でランチ。その後キャンパス内や課外活動(吹奏楽団)の見学を経て、午後1時からの全体説明会に臨みました。

満員のアリーナではまず湯本雅恵工学部長が大学の歴史について語った後、「理論と実践」を理念とする学部の教



全体説明会(世田谷)

育内容について説明。その中では「ゆとり教育の弊害か、今の学生は現状に簡単に満足してしまう。それでは国際競争社会で通用しない。背伸びをすることの大切さを保護者の方からも指導していただきたい」との要望も。続く山本尚生知識工学部長も学部の現況を報告した後、「幼稚な言葉遣いの学生が目立つ。これは経験値が極端に不足しているため。ご家庭でも学生本人を大人として扱って会話してほしい」とアドバイスを加えました。最後に桐生昭吾キャリア委員長が就職・進学状況と就職支援体制について詳細に解説。保護者最大の関心事とあり、熱心にメモを取られる姿が目立ちました。

その後、各学科・学年別の説明会と懇談会、希望者への個人面談が行われ、午後3時過ぎに閉会となりました。



学科・学年別懇談会(世田谷)



全体説明会の前に試食会に参加。
おいしいとの評判も

横浜
キャンパス

**氷河期と呼ばれる状況下
好調な就職率を堅持できている
ことを報告**

横浜キャンパスでは午前10時に受付開始。多数の保護者が参加されたため、大教室2つに分かれ、これらを中継で繋ぐ形で全体説明会からスタートしました。



全体説明会(横浜)

まずは吉崎真司環境情報学部長から、学部の現況、そして次年度学部改編の意義などについて説明がありました。続く中村雅子教務委員長は、カリキュラムの特色などを説明した上で、「卒業までに身につけるべき力を我々は“学士力”と定義。この育成に尽力する」と学部独自の教育方針についても言及。最後の中原秀樹キャリア委員長による就職・進学

状況についての説明では、「今年の学部への求人は昨年より上昇。現時点で学生一人当たり16.8社のオファーがある」との報告もありました。

全体説明会の後は、午後1時から始まる学科・学年別の懇談会までしばし自由行動。学生食堂で食事されたり、学生が引率する“エコキャンパスツアー”に参加されるなど、学内の雰囲気を大いに満喫されたようです。



クラス別懇談会(横浜)



ビオトープやごみの分別回収など学内のエコスポットを案内するエコキャンパスツアー



学部ごとに教室を分けて 教職員と保護者の距離が近い 濃密な説明会を実施

等々力キャンパスでは、世田谷キャンパスと同様、午前11時から受付を開始。まず、学食試食とキャンパス内見学、課外活動見学をしていただき、全体説明会は都市生活学部と人間科学部を別会場に分け、午後12時30分よりスタートしました。

都市生活学部では、平本一雄学部長らが登壇。カリキュラムの特色についての説明があった後、インターンシップや

ヨーロッパ海外研修を推進しながら、企業が求めるコミュニケーション能力&プレゼンテーション能力のある人材育成を行っていること、さらに10人程度の少人数



学科別全体説明会・懇談会(都市生活学科)

クラス体制を採り、個々の学生の就職に向けてきめ細やかなサポート体制を採っていることなどが説明されました。

人間科学部では、近藤雅雄学部長が「学部名に“科学”と付いている通り、子どもを科学する視点を備えた世界でも稀な保育者の養成を目指している」と教育の特色をアピール。

その後カリキュラムや就職について担当教員から具体的な説明があり、皆さま、興味津々の面持ちで聞き入っていました。



学食ではボリュームたっぷりの日替わりランチを試食



学科別全体説明会・懇談会(児童学科)

なお、今年度、全国各地の連絡会へのご参加は全1,659世帯。来年も多くの方々のご参加をお願いいたします。

宇都宮会場

地元会場ならではの、より踏み込んだ内容説明

世田谷キャンパス 社会連携センター 志藤 圭

「平成24年度大学と保護者との連絡会-宇都宮会場-」は、平成24年9月16日(日)午前10時より、チサンホテル宇都宮にて開催されました。当日は、27世帯39名の保護者の出席がありました。

本連絡会では、冊子とともに写真や図表を盛り込んだパワーポイントのスライドを使用して説明を行いました。内容は大学の全体説明に始まり、近況報告として世田谷キャンパスの建設工事竣工や来年度に向けての改組・改称などについてご紹介をさせていただいたあと、学生生活の注意事項や奨学金等の経済的支援についての説明、学修について、成績通知書の読み方や各学年における学修計画と到達目標等についての説明を行い、さらに進路(就職・進学)について、学生の就職活動を取り巻く昨今の状況及びそれに対する大学のサポート体制や、大学院進学に関する説明へと進めさせて頂きました。保護者の方々はそれぞれの内容について熱心に耳を傾け

ていらっしゃいました。

説明に続き、後援会理事・評議員の紹介があり、理事の方より後援会の活動やその意義についてお話を頂戴致しました。また当日は本学の同窓会組織である武蔵工業会より2名のご出席があり、栃木県支部の同窓会活動の紹介と県内の就職状況等についての説明がありました。

その後の質疑応答では「大学院進学とその際の経済支援」、「地元宇都宮での求人情報」等について質問があり、より踏み込んだ内容について説明がなされました。全体終了後は、希望者を対象として個別相談が行われました。約2時間の連絡会でしたが、日頃の大学の取組みや離れて暮らすご子女の大学生活について、保護者の方々に理解を深めていただく機会となったのではないかと感じました。



参加された保護者の方々の感想

世田谷キャンパス



電気電子工学科 1年
滝沢 耕平君のお父さん

立派なキャンパスですね。とくに図書館には目を見張りました。次回はゆっくり蔵書をチェックしたいです。



都市工学科 1年
飯塚 健冬君のご両親

まだ1年生ですが、就職についてはやはり心配。今日は就職指導の方針をじっくり聞け、安心しました。



機械システム工学科 1年
三田 智博君のご両親

現状の就職率を今後も維持していきたい。キャンパスにこれから新設される施設にも期待しています。



原子力安全工学科 3年
奈良 拓也君のご両親

学内の緑の多さに好感。学科説明会では、現4年生の最新の就職情報が聞け、参考になりました。

横浜キャンパス



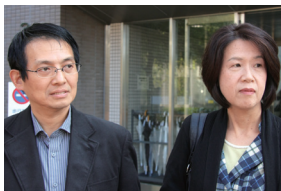
環境情報学科 1年
三松 剛君のお母さん

クラス別ガイダンスが収穫でした。生活指導やカウンセリングまで行っていると聞き、安心できました。



環境情報学科 4年
皆川 沙理奈さんのお父さん

4回目の参加。学部改編の意義や最新の就職状況が聞けて、今回も参加して良かったと感じています。



環境情報学科 2年
河手 貴行君のご両親

個別面談で進路について担任としっかり話せたのが良かった。就活についても適切な助言をいただきました。



情報メディア学科 1年
中村 征司君のお父さん

大学に来るのは入学式以来。来年度の学部改編や今後の大学運営について、満足のいくお話を伺えました。



情報メディア学科 2年
植岡 虹蔵君のお母さん

エコキャンパスツアーが印象的。学生たちの説明もスムーズで、環境に対する意識の高さを実感しました。



情報メディア学科 1年
志村 菜摘さんのお父さん

実践的な英語教育を行っていると感じ安心しました。お昼にいただいた学食の美味しさにはびっくり。

等々力キャンパス



都市生活学科 1年
福山 貴弘君のご両親

子どもの日常や先生方のお人柄、学内の雰囲気などを知りたくて参加。こういう催しはありがたいですね。



都市生活学科 3年
坂野 博子さんのご両親

新しい学部なので進路について気になっていたため参加。先生方の説明はわかりやすく、参考になりました。



都市生活学科 1年
油屋 洸太郎君のお母さん

人間力についてもしっかり指導されている印象をうけました。子どもがこの大学を選んだ理由がわかりました。



児童学科 3年
佐藤 裕香さんのお父さん

コンパクトなキャンパスですが、その分学生と先生の近さを実感。学食では鯖の味噌煮がおいしかったです。



児童学科 3年
鳥居 茜さんのお母さん

連絡会には毎回参加。こういう機会を設けている大学は少ないのでは？ 都市大の面倒見の良さを感じます。



児童学科 4年
宮崎 菜々子さんのお母さん

いつも予定が重なり、今回が初参加。もし可能であれば、年2回開催していただけるとありがたいのですが。

平成24年度 就職動向と支援

① 「早く」「長く」「複雑に」 厳しさを増す就職環境

平成24年3月卒の就職戦線は、東日本大震災の影響により、大きな変化にさらされることとなりました。具体的には、選考日程を2ヵ月遅らせて6月スタートとする企業が、大手を中心に多く見られることとなったのです。こうした事態を受け、本学では選考の止まったこの2ヵ月の間、学生の心理的なプレッシャーを緩和するため、教職員が積極的にカウンセリング等を実施、就活のモチベーション向上に努めました。同時に、変更となった採用計画情報の把握を徹底し、6月からスムーズに選考が進められるよう、前年度以上に手厚い支援策を講じてきました。このように、これまで類を見ないと言ってよいほど厳しいシーズンとなり、各種報道にもありますように、全国的に多くの学生が就職留年・就職浪人という選択を余儀なくされました。

就職活動は年々「早くスタート」し、「長期間にわたって続く」だけでなく、「選考プロセスが複雑化していく」傾向にあります。“就職活動の前哨戦”とも言われるインターンシップへの参加も含めると、3年生の6月から卒業まで、4年間しかない学生生活の中で、相当な長期間に亘って就職活動を続けなければならない学生も現れ始めています。

また、就職戦線が厳しさを増すことで、内定獲得への不安を抱える学生が「少しでも多くエントリーしておきたい」という心理状態に陥り、企業へのエントリー(採用試験への申込)を倍増させていることから、大手企業のみならず、中小企業の選考でも競争が激化しています。

そのため、初期段階の選考からかなり厳しい絞り込みが行われており、面接においても、「自己分析」に基づいて、よりわかりやすく、具体的に自分自身をPRすることが求められ、勉強はもちろんのこと、課外活動やアルバイトなど、幅広い活動の中で自分自身を売り込んでいく姿勢が求められるようになってきました。

その一方で、「就業意識が希薄」「仕事理解が不十分」な学生も目立つようになってきており、「エントリーをしている学生のうち、実際に評価できる学生は少数しかいない」と言われるような、学生の希望と企業のニーズがマッチしないという矛盾や、特定の学生のみに内定が集中するといった「二極化」も現れ始めています。

② 本学の取り組み

従来の就職支援業務の枠を超えて、キャリア全般に関わる幅広く充実したサービスを提供できる「キャリア支援センター」を各キャンパスに設置しております。

各キャンパスのキャリア支援センターには専門の相談員が常駐し、就職の相談のみならず、職業選択や進学など、将来の進路についての的確なアドバイスを受けることが出来ます。常駐している職員のほとんどがキャリアカウンセラーの有資格者であり、キャリアに関わることはどんなことでも安心してご相談頂けます。

また、卒業生や先輩学生による密度の濃い情報をはじめ、就職活動支援サービス会社の各種資料なども豊富に提供しております。

学生の進路に関する意識が多様化し、更に厳しさを増す就職戦線に対応すべく、今後ますますキャリア支援業務に注力致しますので、引き続き保護者の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

③ 本学の支援

こうした状況に対応すべく、本学では前述致しました通り、「キャリア支援センター」を設置し、総力を挙げて就職支援に取り組んでおります。また、従来通り各学科には就職担当教員がおり、強力に学生をバックアップするとともに、各学科、各キャンパスの強みや特徴を活かして、一人ひとりのニーズにあった支援を展開しています。

学内で実施している就職支援行事は100回以上にのぼり、徹底してキャリアについて考える機会をつくっております。更に本学の前身である武蔵工業大学時代からの強みである「社会で活躍する卒業生」のご協力を得て、学部・学科ごとに企業・業界セミナーや相談会を実施するなど、充実した支援体制を整えております。

もちろん個別相談も充実しており、カウンセラーによる面接指導や履歴書添削だけでなく、自己分析等の指導も積極的に行い、基礎から応用まで、幅広い指導をしています。

また、本学の学生を指定して寄せられる独自の求人だけを検索出来るシステムなどにより、内定獲得を目指す学生を強力に支援しております。

④ 今年度の状況

今年度の就職状況は、企業の採用計画に「微増」の傾向が出ておりますが、昨年に引き続き全国的に厳しい状況に変わりありません。文部科学省発表の10月時点での内定率は「63.1%」となりました。本学では現時点で工学部が83.8%、知識工学部が85.9%、環境情報学部が68.1%、都市生活学部が81.8%、人間科学部が61.4%(人間科学部の保育業界希望者は、これらが選考のピークを迎えます)、大学院工学研究科が86.5%、環境情報学研究科が55.2%となっており、全国平均に比べても十分健闘をしています。厳しい就職環境の中、例年以上に学内での企業セミナーや合同説明会を実施するなど、なお一層の内定支援を展開しております。

今年度は就職環境の厳しさもさることながら、就職活動学生の「モチベーションの維持」「動き続ける姿勢」が重要なポイントになっております。キャリア支援センターでは多数の「本学学生だけの求人」を含め、まだ十分に求人情報もございます。現在も活動中の学生への支援を最優先にしておりますので、ぜひ大学のキャリア支援センターを活用されるよう、学生ご本人にご指導頂ければ幸いです。



平成24年度 主な就職内定先企業等 (平成24年12月1日現在)

*数値は就職内定者数

工学部・知識工学部・大学院工学研究科

■ 輸送用機器	日立ソリューションズ… 4
スズキ… 6	日立システムズ… 2
トヨタ自動車… 5	日本コムシス… 1
本田技研工業… 5	サイバーエージェント… 1
富士重工業… 3	■ 運輸
いすゞ自動車… 3	JR東日本… 8
三菱自動車工業… 2	JR東海… 2
ヤマハ発動機… 2	東京急行電鉄… 1
日産自動車… 1	富士急行… 1
■ 電気機器・精密機械	北海道旅客鉄道… 1
日立製作所… 7	■ 建設
東芝… 6	清水建設… 4
キャノン… 5	大成建設… 3
日本電気… 3	鹿島建設… 3
リコー… 3	東急建設… 3
京三製作所… 3	大林組… 2
三菱電機… 2	五洋建設… 2
沖電気工業… 2	大和ハウス工業… 1
パオニア… 2	竹中工務店… 1
TDK… 2	■ その他
クラリオン… 2	東京都庁… 5
日本無線… 2	横浜市役所… 2
ソニー… 1	川崎市役所… 2
富士通… 1	その他政令指定都市… 2
京セラ… 1	小田急電鉄… 2
村田製作所… 1	東京臨海高速鉄道… 1
日本ビューレットパックード… 1	日本通運… 1
■ 情報通信サービス	センコー… 1
ヤフー… 13	丸運… 1
NTTデータ… 4	東芝ロジスティクス… 1

環境情報学部・大学院環境情報学研究科

■ 電気機器・精密機械	日立製作所… 3
東芝テック… 2	東芝システムズ… 2
日本電気… 1	富士通… 1
富士通… 1	三菱電機… 1
オムロン… 1	沖電気工業… 1
スタンレー電気… 1	アルファ… 1
■ 情報通信サービス	日立ハイシステム21… 8
大塚商会… 4	NSD… 4
ヤフー… 3	日立システムズ… 2
日立システムズ… 2	サイバーエージェント… 2
J SOL… 2	NTTデータ… 2
富士ソフト… 1	NECソフト… 1
NTTソフトウェア… 1	日本マイクロソフト… 1
■ 運輸	小田急電鉄… 2
東京臨海高速鉄道… 1	日本通運… 1
センコー… 1	丸運… 1
東芝ロジスティクス… 1	

都市生活学部・人間科学部

■ 建設・不動産	大林組… 1	ティーツコミュニケーションズ… 1
三井不動産リアルティ… 1	クレオ… 1	ティーツ・ワイ・オー… 1
日比谷総合設備… 1	■ 小売	セブン&アイホールディングス… 1
スターツコーポレーション… 2	ワコール… 1	ニトリホールディングス… 1
トヨタホーム東京… 1	ファーストリテイリング… 1	■ 金融
木下工務店… 1	■ ティペロッパ	日本生命保険… 1
三井不動産住宅サービス… 1	バルコ… 1	日立キャピタル… 1
三井住友トラスト不動産… 1	イオンモール… 1	損害保険料率算定機構… 1
	パーク24… 1	JAセセサ川崎… 1
	東神開発… 1	■ 公務員
	西武プロパティーズ… 1	長野県警… 1
	三越伊勢丹ビルマネジメント… 1	長野谷区役所… 1
	■ 住宅設備機器	横浜市役所… 1
	LIXIL… 1	渋谷区役所… 1
	文化シャッター… 1	新宿区役所… 1
	クリナップ… 1	横浜区役所… 2
	YKKAP… 1	藤沢市役所… 1
	立川プラインド工業… 1	鹿嶋市役所… 1
	三井デザインテック… 1	筑紫野市役所… 1
	積水ホームテックノ… 1	■ 幼稚園・保育園等
	■ 運輸	幼稚園… 13
	JR東日本… 1	保育園… 31
	東武鉄道… 1	■ その他
	東京メトロ… 1	五島育英会… 1
	神奈川中央交通… 2	神奈川県社会福祉事業団… 1
	東急テクノシステム… 1	エコミルタビジネスソリューションズ… 1
	■ 広告	specialized bicycle components inc.(外資系)… 1
	サイバーエージェント… 1	日本グッドイヤー… 1
		片倉工業… 1

採用活動・進学スケジュール

学部3年生 / 修士1年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント									履歴書、自己PR書作成	企業への応募のピーク		一部の企業で試験開始
民間企業 (大手企業)			ナビレオオープン	インターンシップ説明会セミナー	インターンシップ				グランドオープン	エントリー 業界研究セミナー・会社説明会 合同企業説明会		採用試験
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)											公告 国家公務員	
進学	大学院に進学するか、就職するか熟慮(年内を目処に) 進学の意思を決定次第、志望校の選定および受験科目の確認。受験勉強開始										指導教授等と相談の上 進学先の決定	

学部4年生 / 修士2年												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ポイント												
民間企業 (大手企業)		採用試験ピーク										
民間企業 (大手企業)	選考開始	エントリー 会社説明会							採用試験			
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	受付期間	1次試験	2次試験	最終合格								内定
公務員 (受験する職種等によりスケジュールが異なりますので、参考としてご覧ください)	公告	受付期間	1次試験	2次試験	最終合格							内定
進学 (本学の場合)	大学院推薦入試(A日程) 願書提出/試験											
進学 (本学の場合)					大学院一般入試(B日程) 願書提出/試験							
進学 (本学の場合)										大学院一般入試(C日程) 願書提出/試験		



本学の就職支援スケジュール

世田谷キャンパス (SC)	1 年生	2 年生	3 年生														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月							
			技術系の強みを生かせるよう普段から授業をしっかり頑張ろう!									技術系の素養を高めるため、専門科目の学修に注力(技術系就職の基礎)					
就職支援	4月: ・キャリアガイダンス ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス	4月: ・キャリアガイダンス ・自己プロGRESSレポート ・自己プロGRESSレポート フォローアップガイダンス	就職支援プログラム	就活基礎力養成				公務員対策	いざ!本番に向けて、本エントリー攻略								
	6月: インターンシップ対策講座	6月: インターンシップ対策講座		<ul style="list-style-type: none"> ・就活入門ガイダンス ・各種就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説 ・公務員ガイダンス 				公務員試験対策講座(集中講座)	<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(Uターンガイダンス含む) ・進路適性検査 ・就活セミナー ・履歴書・ES対策講座 ・SPI模試 ・面接・GD対策講座 								
	8月: インターンシップ等に積極的に参加	8月: インターンシップ等に積極的に参加	実践直結プログラム														
	9月: ・キャリアガイダンス	9月: ・キャリアガイダンス															
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。</div>																	
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他																	

横浜キャンパス (YC)	1 年生	2 年生	3 年生														
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月							
			進路・勉強方法を考える									着実に就活力をつけていくための基礎力講座<履歴書・ES対策>					
就職支援	4月: ・自己発見レポート ・自己発見レポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン	4月: ・自己プロGRESSレポート ・自己プロGRESSレポート フォローアップガイダンス ・自己分析キャンペーン	就職支援プログラム	就活基礎力養成		仕事・企業を知る		本エントリー攻略		企業のダイナミズムを知る							
	5月: インターンシップ対策講座	5月: インターンシップ対策講座		<ul style="list-style-type: none"> ・職業適性検査 ・就活入門ガイダンス ・インターンシップ ・SPI模試・解説 ・マナー講座 		<ul style="list-style-type: none"> ・質問力養成講座 ・業界、会社の選び方 		<ul style="list-style-type: none"> ・文章力強化講座(全5回) ・業界研究会 ・内定者懇談会 									
	8月: インターンシップ等に積極的に参加	8月: インターンシップ等に積極的に参加	実践直結プログラム														
				公務員講座		進路個人面談											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。</div>																	
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他																	

等々力キャンパス (TC)	1 年生	2 年生	3 年生															
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月								
			授業を通じ、社会のトビラを開けてみよう!									社会人へのトビラ「社会人基礎力」を向上させよう!						
就職支援	進路を考えよう!									少人数から個別対応での就職支援→								
	4月: ・進路適性検査 ・自己発見レポート	4月: ・進路適性検査 ・自己プロGRESSレポート	就職支援プログラム	就活基礎力養成				公務員対策	いざ!本番に向けて!本エントリー攻略									
4月/9月: ポートフォリオ(フレッシュアゼミと連動)	4月/9月/12月: ポートフォリオ(キャリアデザイン1・2と連動)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン(3)(都市生活学部) ・特別講義 ・就活入門ガイダンス ・就職講演会 ・インターンシップガイダンス ・SPI模試・解説/TOEIC ・業界研究会/企業研究 				公務員試験対策講座(集中講座)	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン(4)(都市生活学部) ・就職ガイダンス ・進路適性検査(キャリアアブローチ) ・就職講演会 ・就活セミナー/TOEIC ・履歴書・ES対策講座 ・SPI模試 											
	8月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加	8月: インターンシップ、ボランティア等に、積極的に参加	実践直結プログラム															
				資格・TOEIC		進路個人面談		セミナー対策										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3年生用就職支援プログラムには全学年参加可能です。</div>																		
キャリアアップ講座(全学年対象となります): 5月~12月 課外英会話講座(40分/日・年間100回) 他																		



3 年 生					4 年 生											
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
					今までの学修を生かし、卒業研究に注力(研究内容をしっかりアピールできるように)											
					内定獲得まで諦めない支援											
最終総仕上げ ・履歴書・ES対策 ・筆記対策(SPI-一般常識) ・面接・GD個別対策		公務員対策 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・公務員試験模擬試験 ・面接カード記入ガイダンス														
模擬面接&GD講座 ・採用コンサルタントの先生による、半日かけての徹底講座(12月~2月)		進路個人面談 ・3年生全員対象 ・学校推薦対象者決定 ・大学院進学希望調査			進路相談強化 ・求人紹介など内定直結型の支援を行う					個別指導の徹底 ・大学宛求人票を有効活用し、1人1人に求人紹介を行う ・進路未決定者に電話をかけ、現状把握と求人紹介を徹底的に行う						
企業研究会 ・全7日間、約180社参加(全学部参加可)					企業研究会 1日間 30社参加		企業研究会 1日間 30社参加		企業研究会 1日間 30社参加		企業研究会 1日間 30社参加		企業研究会 1日間 20社参加			

3 年 生					4 年 生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					徹底的な書く・話すチカラの強化...個人面談にて、履歴書を元に話す練習 <面接対策>										
					内定獲得まで諦めない支援										
最終総仕上げ ・履歴書・ES対策 ・筆記対策(SPI,CAB,GAB) ・面接対策・GD対策		公務員対策 ・公務員試験対策講座(集中講座) ・公務員試験模擬試験 ・面接カード記入ガイダンス													
実践対策講座 ・グループディスカッション ・集団面接 ・内定直結ガイダンス ほか					進路相談強化 ・進路面談カードを元に面談 ・求人紹介など内定直結型の支援を行う		個別指導の徹底 ・大学宛求人票と進路面談カードを有効活用し、志望・適正に応じた求人紹介を行う			個別就職支援 ・進路面談カードを利用し、未内定者に現状把握と求人紹介を徹底的に行う					
模擬面接&GD講座 ・採用コンサルタントの先生による半日かけての徹底講座					学内合同企業研究会 ・毎月実施 5~20社 ・個別企業説明会も開催										
企業研究会 3日間・50社 全学部参加可		企業研究会 3日間・80社 全学部参加可													

3 年 生					4 年 生										
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					トビラの向こうへ! 就職活動スタート!										
					内定獲得まで諦めない支援 就活指導・就職支援→										
					保育業界採用スタート→										
いざ本番に向けて! 本エントリー攻略		公務員対策 ・各種公務員試験対策講座(集中講座)			進路相談強化 ・履歴書・就職セミナー・就職講演会(人間科学部) ・エントリーシート/グループディスカッション/面接対策 ・採用情報提供 ・個別面談					個別指導の徹底 ・個別面談 ・個別指導 ・キャリアカウンターで随時相談受付			個別就職支援		
企業研究会 学内企業説明会開催(12月~3月) 世田谷C・横浜Cと連携		模擬面接&GD講座 ・個別面談を中心として徹底指導		進路個人面談 ・3年生全員			企業研究会 ・学内企業説明会開催(随時) 世田谷C・横浜Cと連携								

世田谷キャンパス 新1号館の巻

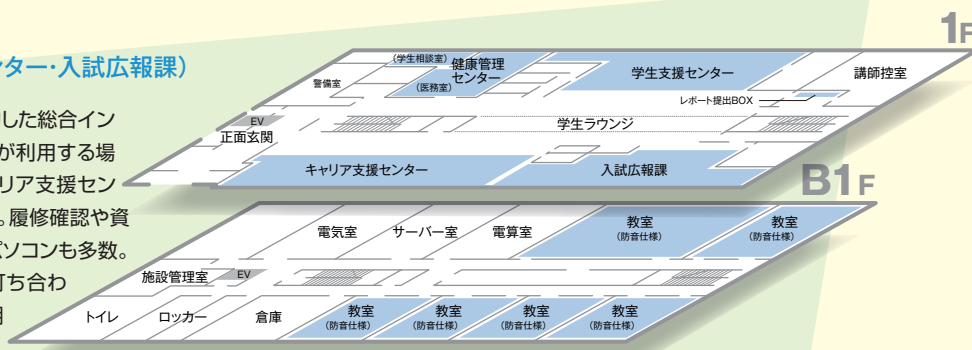
世田谷キャンパスの再整備事業のひとつとして、2010年末から進行中の新1号館建設工事。2011年12月に竣工した第1期工事では、旧1号館南半分に地上4階、地下1階の新しい建物が完成し、現在は学生支援施設を複合した総合教室棟として幅広く活用中です。自然光を生かした設計や、自動制御の自然通風システム、太陽光発電システムの導入、壁面緑化など、省エネルギー化・長寿命化にとことん留意した環境配慮型建築には多くの注目が集まります。



1F 学生支援エリア

(学生支援センター・キャリア支援センター・入試広報課)

1階は、日々の学修・生活や進路などへのサービスを集約した総合インフォメーションセンターとしてキャンパス中の学生たちが利用する場所。明るい吹き抜けを囲んで、学生支援センター、キャリア支援センター、健康管理センター、入試広報課を配置しています。履修確認や資料検索、企業情報検索などに学生が自由に使用できるパソコンも多数。中央のラウンジにはテーブルやカウンター席が並び、打ち合わせなどにも便利です。2013年12月竣工予定の第2期工事では、北側に教室6室ができます。



学生支援センター

学修にかかわる履修成績関連や教室予約から学生生活にかかわる課外活動、奨学金、アルバイトまで幅広い学生対応をしています。各種証明書発行も行っています。



キャリア支援センター

キャリア支援のコーナー。個別面談用のブースや、じっくり相談できる個室もあります。横には採用試験報告書や企業情報などを揃えた就職資料室も。



入試広報課

受験生向けに入試に関する情報を提供する部署です。広報誌や大学案内パンフレットなどの制作も行っています。



健康管理センター

広くて明るい清潔感のある室内は、殺菌力、脱臭力にすぐれた紫外線を利用して空気を清浄化しています。奥には「学生生活なんでも相談室」も併設しています。



レポート提出BOX

講師控室の前にあります。上のモニターは専任の先生の出講状況を表示しています。



バス待合所

3キャンパスを結ぶシャトルバスの待合所は、ベンチもあってゆったりひろびろ。



学生ラウンジ

吹き抜けの明るいラウンジには可動テーブルやカウンター、パソコンコーナーも。

B1 教室エリア

地下1階には電算室、サーバー室、電気室などの他、現在は6つの教室があります。このフロアの教室はすべて防音設計。周囲への音漏れを気にすることなく活用できます。空き時間にはクラブ、サークルなどの楽器練習に励む学生もしばしば。第2期工事が完了すると教室は14室に増えます。



教室で練習中の吹奏楽団メンバー。右から西尾拓哉君(機械システム工学科1年)、山本康一郎君(エネルギー化学科2年)、杉山由夏さん(都市工学科1年)、齋藤彩佳さん(環境情報学科2年)。「思い切り音が出せるし、机や椅子も動かせるので便利」と声を揃えます。



教室の外側は地面を振り下げたドライエリア。地下でも外光が射しこみ、通風も確保しています。



建物の中央には吹き抜けを設け、天窗から入る明るい光を各フロアに採り込みます。縦の太いパイプは外気導入用。



設備の更新を容易にするため、廊下天井の配管・配線は露出式に。照明はすべて省電力のLEDを採用しました。



1階の吹き抜けには冬場は光を透過するスクリーンを張り、暖房効率アップ。



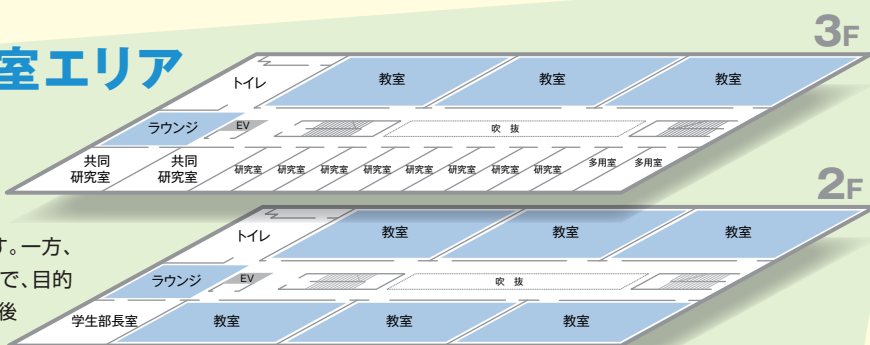
屋上に並ぶ太陽光発電パネル。第2期工事完了時には出力40kWになります。



ヒートアイランド防止のため、壁面はツタ類をワイヤーに這わせて緑化。今後、屋上の緑化も予定しています。

2F 3F 教室・研究室エリア

数多くの授業やゼミなどにフルに活用されているのが、教室と研究室が並ぶ2・3階です。2階の6教室はすべてパソコン対応の固定座席。持ち込んだパソコンでプレゼンテーションも行えます。一方、3階の3教室は机も椅子も自由に移動できるので、目的に応じてレイアウト変更も自在です。第2期工事後は、2階14教室、3階は15教室になります。



2Fラウンジ

ラウンジ

広い窓のそばにあるラウンジは、授業の合間などにゆっくりくつろげる憩いの場。ここで食事をとる学生も多いとか。2階と3階では雰囲気があるで違いますが面白いところです。



3階ラウンジのカウンターで自習していた佐野保君(経営システム工学科3年)。「このカウンター席はお気に入りの場所。使いやすいし、静かなので集中できます」と高評価でした。

光と空気をコントロール

教室の窓は内側だけでなく外にもブラインドをつけて陽射しと熱をコントロール。太陽光を反射させて室内に導入する庇もついています。また窓の下には、室内の空気環境に応じて自動開閉する通風スリットも。



PC対応教室

2階の教室はすべての席にLANケーブルと電源を設備。授業でも個別の研究でも、自分のパソコンをフルに活用できます。幅広い椅子も快適そう。

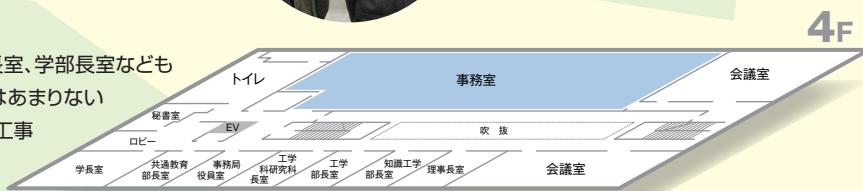


「パソコンを使う授業も多いから、LANが使えるのはすごく便利です」と情報科学科4年の田辺隼人君(左)。「建築を学ぶうえでも、この建物全体が興味深いです」と話す古橋一輝君は建築学科1年。

4F 事務管理エリア

(学長室・学部長室・事務室)

4階には大学の事務管理部門を集約。理事長室、学長室、学部長室などここにあり。現在は学生が日常的に訪れる機会はありませんが、実はこの階からの眺めは抜群。第2期工事では北側に24室の研究室のほか、緑に囲まれた屋上テラス、レセプションなどにも使えるスカイラウンジができる予定です。



事務室

総務、経理、企画、施設管理などをオープンなスペースに集約した事務室。晴れた日には、ここから富士山もきれいに見えます。



デザイン性の高いサイン

各階にあるトイレなどのサインはすっきりとシンプルなデザイン。少しずつ全キャンパスでの統一を進めています。



発電状況表示モニター

太陽光発電の状況はバス待合所のディスプレイに表示。「本日の発電量は〇教室分」といったわかりやすい数値を日々目にしていて、省エネ意識も高まりそうです。

クラブ活動紹介 30

学修や研究に熱中するのも大切ですが、課外活動もまた、人間形成、そして将来にわたってつきあえる良き友を作るための有益な場です。今回は世田谷キャンパスの「航空研究部」、横浜キャンパスの「環境サークル Green Days」、等々力キャンパスの「テニスサークル BOOM」の3団体の活動内容をご紹介します。

取材:2012年11月



顧問	大谷 眞一 (機械システム工学科 教授)
学生責任者	伊藤 篤 (機械工学科2年)
部員数	13名 (うち女子部員1名)

主な活動	
4月	お花見 / 機体製作 / 新入部員歓迎会
5月	機体製作 / テストフライト
6月	〃
7月	機体製作 / 鳥人間コンテスト
8月	モデルロケット講習会 / 羽田機体整備場見学
9月	鳥人間交流会 / モデルロケット製作
10月	モデルロケット全国大会
11月	機体製作 / 世田谷祭
12月	機体製作
1月	〃
2月	〃
3月	博物館見学

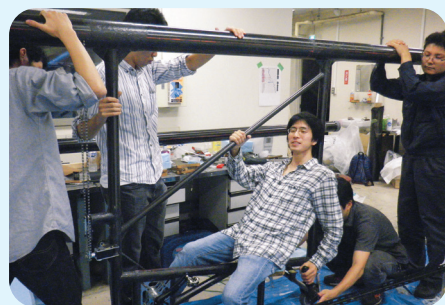
仲間と製作した人力飛行機で琵琶湖の空を飛ぶ!

航空研究部

7年ぶりの“鳥人間コンテスト”に出場の快挙

自分たちで設計し、製作した人力飛行機で空を飛ぶ『鳥人間コンテスト選手権大会』。毎年琵琶湖畔で開催される通称・ウコンは、機体の設計など厳しい審査をクリアしたチームだけがエントリーできる大変に難度の高い大会として知られます。1987年に発足した航空研究部(現チーム名:APS ARAS)は、93年の初参加以来、隔年では出場を続け、2006年には人力プロペラ機で14.02mの飛行を果たしました。その後は毎年、新機の設計や製作、テストフライトを繰り返しながらもなかなか審査を通ることができませんでした。出場へのハードルは、それほど高いものだったのです。

「このままではいけないと、部員一丸となって持てる力をすべて注ぎ込んだのが今年でした」と、機体製作と操縦を担った前部長の藤岡靖広君(機械工学科3年)。「これまでV字尾翼をモーターで駆動していたのですが、ワイヤーで直接操作する十字尾翼に変えました。機速計、GPSロガーなど、我々だけでは知識不足の計器類をOBの方に製作いただいたのも大きかったですね。材料のカーボンファイバーも、これまで資金の問題で使い回しをしていましたが、強度不足を指摘され、太いものに変更しました」。当初は来年に向けて2カ年計画で考えていたそうですが、顧問の先生の激励を受け、今年の出場を決意。昨年10月から設計をスタートして2月末に図面を提出、合格の連絡を受けたのは4月下旬のことでした。



人力飛行機の製作は主翼、コックピットなどそれぞれ手分けして進めていく。

「それから先生や大学側の支援も得て材料が揃ったのが6月。OBの方々にも手伝ってもらい、ひたすら製作を進めました」と振り返るのは五十嵐大騎君(機械システム工学科1年)。実は、大会直前のテストフライトでは機体が浮かないという大問題も。「修復を進めて開催地に運び、あとはぶつつけ本番だったんですよ」という森田航君(同1年)の言葉も、今だからこそ笑って話せる思い出です。

■ モデルロケット作りも部員の楽しみ

7月に出場した大会では、結果は110.67mの飛距離。参加11チーム中8位の成績は、長いブランクや短期間での製作を思えば大きな快挙です。「飛び立つ時に尾翼が破損したため進路が曲がってしまって。1kmは飛ぶつもりだったんですが」という藤岡君ですが「浮いた瞬間はすごいうれしかったですね」。共に取り組んだ面々も「本当に感激しました」(細川雅弘君・機械システム工学科1年)、「やってきた成果がでて安心しました」(鈴木俊宜君・都市生活学科2年)、「もっと飛ばせる自信がつかました」(伊藤篤君・機械工学科2年)とそれぞれに感動を語ります。

部ではこの鳥コン出場をメインターゲットにしていますが、もうひとつ皆が楽しみに取り組んでいる活動がモデルロケットの製作です。これは紙やバルサ材で作る長さ20~50cmほどの小型ロケットで、毎年開催される全国大会には、部員それぞれが工夫を凝らした作品を持ち寄り、高さや着地の正確さ、パラシュートの滞空時間などを競います。今年は悪天候で試合中止になったそうですが、過去には定点着地競技での優勝や3位入賞の記録も。「でもこちらは優勝狙いというより遊びに近い活動。お菓子の容器を使ったりして、楽しんで作っています」(伊藤君)

人力飛行機やロケットの製作は、やはり学科での学びだけではできません。航空力学、流体力学、材料工学、火薬の扱いなど、皆、部の活動を通して多くの知識を理解していきます。文系唯一の部員である鈴木君も「飛行機を作る経験など、大学時代でなければできません。ものを作ることが好きな人にとって、素晴らしい経験ができる部です」と語ります。最初から工学の知識を持っている必要はありません。皆で取り組む中で身につけていくことこそが財産なのです。

自分の力で空を飛ぶのは、人類にとって永遠の夢。「今後はとりあえず鳥コンでの1km超えが目標。今は、いかに飛距離を延ばすか改良設計を進めています」と伊藤君。「一緒に大きなことに取り組もう」——それが皆の合言葉です。



PC関係や電気系統が得意な伊藤篤君。「部長として、この伝統が途切れないよう頑張っていきます」



「もの作りが好きな人に、これ以上の部はありません」と、パイロットを務めた前部長の藤岡靖大君



森田航君は明るいムードメーカー。「根気と、柔軟な発想でよりよい機体作りをめざします」



鈴木俊宜君は文系学部から入部。「製作や修復と同時に会計管理なども担当。航空力学も勉強中です」



カーボン素材に精通する細川雅弘君。「プロペラの切り出しもほとんど任せられています」



真面目な努力家の五十嵐大騎君。「1人ではできない作業。完成した機体は迫力がありますよ」



モデルロケットは製作者ごとに個性もいろいろ。



テストフライトを終えると、最後の調整や修復。今年の作業は、搬出前日の深夜まで及んだ。



琵琶湖畔の会場。高さ10mのプラットフォームから飛行を待つ「NEXT~Return to zero」号。





顧問 中原 秀樹 (環境情報学科 教授)

学生責任者 田邨 祥 (環境情報学科3年)

部員数 55名 (うち女子部員17名)

主な活動

5月 多摩川清掃

8月 富士山清掃

10月 足尾銅山植林

11月 世田谷祭・等々力祭

『Enjoy Eco!』が合言葉。環境への思いは行動で表現しよう 環境サークル **Green Days**

■ イベントごとに企画グループを決め、彼らが中心となり全員が動く

『Enjoy Eco!』をモットーに活動している、環境サークルGreen Daysが誕生したのは1999年。清掃や植林など環境の保全や美化活動を学内外で行っています。

「Green Daysでは、先輩たちの時代から継続している恒例イベント、自分たちで提案して行うイベントなど、常に企画が動いています。5名ほどの企画メンバーが中心になってイベントの準備を進めてもらい、その5人が他の部員たちを動かして、イベントを実施しています」と語るのは代表の田邨祥君(環境情報学科3年)。

同じく環境情報学科3年生の篠田和宏君は「普段、学年を越えてのコミュニケーションがなかなかとれないので、イベント前に話し合ったり一緒に作業をしたりする時間を設けて、交流を図るようにしています」とのこと。

新入生を歓迎する『スプリングフェスティバル』や横浜祭、世田谷祭などの学校関係のイベントの他、多摩川や富士山の清掃、足尾銅山の植林といった、毎年恒例となったエコ活動、さらには新規で提案して行う活動など、月に1、2回はイベントを行っています。

「5月に行った多摩川の清掃は、新入部員の歓迎も兼ねた活動です。今年、河原には清掃の団体が入って、前よりはゴミが少なくなったように感じました。私たちの活動によって状況が変わったのならうれしいです」(望月美咲さん・同2年)

「でも、相変わらずペットボトルやタバコのゴミは多かった。自転車などが捨てられていて、どうしてこんなことするんだろうって憤りを感じたことも



恒例の春合宿。みんなで作ったご飯はサイコーにおいしかった。



ハート型に並べたエコキャンドル。来場者に「電気を大切にしましょう」というメッセージを伝えました。

ありました」(中澤悠君・環境情報学科2年)

「僕たちがゴミを拾っているエリアにもBBQをしている人たちがいましたが、ああやって多くの人の目にふれることで、僕たちの思いが伝わって、環境に対する意識が変わるといいですね」(長谷川祐大君・同2年)

毎年行っているからこそ、感じることも考えることも多い。彼らの地道な活動からは、先輩たちから受け継いだ「行動によって人々の意識を変える」という理念が強く感じられます。

■ 行動で表現する環境活動。その志は卒業後の絆となる

Green Daysは、富士山や花火大会の清掃など他NPOと一緒に活動することも少なくありません。環境活動を継続している社会人との交流は、学内では得られないさまざまな学びを与えてくれます。毎年恒例となった足尾銅山での植林もそのひとつ。

「もともと植林には興味がありました。去年初めて足尾銅山に行って、木のない山を実際に見てショックを受けました。足を滑らせたなら落ちてしまうような、ものすごい急斜面で木を植えるのです。頭の中でイメージしていた植林とは全然違いました。あの時植えた木が育っているかどうか、今年自分の目で見るのが待ち遠しい」(志村美保さん・環境情報学科2年)

金子久美さん(同2年)は、キャンパスのある地元・中川駅前で『ふれあいフェスタ』を主催する中川駅前商業地区振興会からの要望で『キャンドルナイト』を企画しました。「大学の食堂から出る排油を使ってキャンドルを500個作り広場に並べました。東北復興の祈りを込めて灯りをともし、たくさんの人々に私たちのメッセージを発信しました」

環境の保全や美化は、一人ひとりの意識が変わらないと実現することができません。一般の人たちに対して一体どのようなアプローチが有効なのでしょうか。

「自分が捨てたゴミを拾っている人がいる…と理解することで、今までの行動を反省して、ゴミを捨てないように気をつけようと一人でも多くの人に思ってもらえればいい。大切なのは自分たちが楽しくエコ活動をすることです。部員のみならず『Green Daysで環境活動ができて楽しい』という気持ちをずっともってほしい」(田邨君)

今回取材に応じてくれたメンバーは皆、卒業後はさまざまな形で環境と関わる仕事がしたいと語っていました。大学時代の仲間が環境への志を絆として、ビジネスや行政、NPOなど社会的な連携を築く。Green Daysの撒いた種は、社会という土壌で大きな花を咲かせることでしょう。

等々力祭にも参加し、Green Days名物の『エコ焼き』を出店。最中のお皿にブリッツの串、全部食べられます。



「循環型社会で廃棄物を低減する」という卒論を書いた田邨祥代表は、法律面から環境問題解決の基盤を作りたいと語る。



足尾銅山の植林活動に参加して、森を再生したいという気持ちがさらに強くなったという志村美保さん。



長谷川祐大君は、より多くの人の環境に対する意識を変えるために、HPをはじめ、広報活動も推進したいと考える。



金子久美さんは、環境活動を行うようになって、普段でも路上に落ちているゴミが気になって仕方がないとか。



「行政の視点から環境を踏まえたコミュニティ形成を行う仕事をしたい」と考えている中澤悠君。



木のない山(足尾銅山)にショックを受けた望月美咲さん。「森林を破壊するのは簡単でも再生することは本当に大変」



篠田和宏君は、植林活動の経験から、都市計画のコンサルなど、自然の復元や創造に関わる進路を模索している。



8月には富士山清掃へ。精進湖付近でゴミ拾い。夏だったので軽装で参加したため山の寒さを体感!



5月に多摩川の河原を6グループに分かれて清掃。新入部員との交流も深めることができました。



顧問 山根 格 (都市生活学科 准教授)

学生責任者 齋藤 貴成 (都市生活学科2年)

部員数 117名(うち女子部員33名)

主な活動

4月 新入部員歓迎ビンゴ大会

5月 ラケットツアー／食事会

6月 対抗戦

8月 サークル内ランク戦／夏合宿

9月 TCUサマートーナメント

10月 総会

11月 対抗戦／BOOM運動会／等々力祭出店

2~3月 春合宿

3月 TCUスプリングトーナメント／対抗戦

本気でテニスに取り組みたい! そんな思いで誕生して4年 テニスサークル **BOOM**

■ 真剣に技術を磨きつつ、イベントの楽しみも

テニスサークルBOOMが誕生したのは4年前。今年は1年生から4年生まで揃い、活発な活動を続けています。

そもそもサークルの発足は、高校時代からテニスに親しんでいた澤田啄冬君(都市生活学科4年)と結城利宏君(同4年)が1年生の時、食事会やイベント中心ではなく真剣にテニスに取り組むサークルを作ろうと考えたのがきっかけでした。友人たちに声をかけて9人でスタート。翌年春には15人に増えました。

「当大学にはテニスサークルが元々少なく、うちを入れても3つ。だから、少しずつテニス好きの人たちが集まるようになったんです」と澤田君。真面目さを前面に押し出したサークルゆえ、最初は女子の加入は少なかったと言います。「練習は男子と一緒に。私自身、中学からテニスをしていたので、ちゃんと取り組めるのは魅力でした」と、初期メンバーの佐相美樹さん(同4年)。また2年目から参加した内田彩生さん(同3年)も「女の子をチャホヤすることもないし、なにもかも平等なのがいいところ。だから女子のテニスレベルもかなり高いと思います」と話します。

でも、試合出場などを考えると、ある程度の人員は必要です。そこで2代目サークル長の西家浩章君(同3年)の代から少しずつソフト路線も取り入れるように。「あくまでもテニス上達が主眼ですが、サークル内運動会やボウリング、食事会、登山なども開催し、親しみやすい空気作りを心がけていきました」(西家君)。「そうやってみんなが仲良くテニスを楽しむ、今の雰囲気できていったんです」(内田さん)。



今年の夏合宿には総勢94人が参加。親睦を深めるとともに、テクニクも大幅にアップ!



夏合宿での練習風景。対抗戦に向け練習に励みます。

おかげで、都市生活学科の沓掛一貴君をはじめ2年生部員も「入った時から、大学のテニスサークル特有の親しさを感じました。皆が平等にテニスに取り組み、一緒にレベルを上げていける感覚です」と声を揃えます。

■ わずか4年で100人余の大サークルに発展

“真剣さ”と“親しみ”の両輪が功を奏し、数人ではじまったサークルはいまや部員数100人以上を数える大所帯に。週2日の練習は常に30人以上、この夏の合宿には94人もメンバーが参加しました。

「学内のコート数が限られているので、皆がレベルに合わせて練習できるよう、しじゅう知恵を絞っています」というのは現サークル長の齋藤貴成君(同2年)のうれしい悩み。「初心者も経験者も楽しく取り組める、今の雰囲気はこの先もずっと伝えていきたいですね」

現在の活動は、年3回行う学内テニスサークルとの対抗戦と、年2回の学内トーナメントに向けての練習。「トーナメントでは学内全サークルの200人ほどが出場するんですが、ペアベスト8中、5ペアがBOOMでした。それに11月の対抗戦では難敵だったサークルに、遂に団体戦で勝利することができました」と沓掛君。12月には他大学の強豪サークルとの初めての対抗戦も予定。この勢いを維持し、これからはどんどん外部との試合にも挑戦していく計画です。

「初心者は一緒にショップに行ってお店の選び方から始めますし、夏合宿では昼間しっかり練習して、夜はバーベキューや肝試しで盛り上げます。サークル主催の運動会では、ときにはテニスを離れてバスケットボールなども楽しめます。それに、11月の等々力祭で出店するヤキソバも、毎年売上上位を誇っているんですよ。テニスもしっかりやりたいし、イベントも楽しみたいという人たちに、どしどし参加してほしいですね」と言う齋藤君。

人数が多いだけに、個性豊かなキャラクター揃いなものこのサークルの魅力。真面目な理論家、面倒臭いいいアニキタイプ、いつも明るい元気派、しっかり者のまとめ役、皆に笑いをもたらすひょうきんタイプ、おおらかで優しいムードメーカー……。そんな仲間が集まって研鑽を積むBOOM。テニスを愛する思いは、どこにも負けません。



初代サークル長の澤田啄冬君。何事も真剣に考えるタイプだけれど「楽しい活動も大切にしています」



初代副サークル長の結城利宏君は人望の厚さで知られ、「サークルの空調管理係と言われています」



「雰囲気作りを重視してきた」という2代目サークル長の西家浩章君。皆が認める実力派でもある。



内田彩生さんは2代目副サークル長として、イベント等の下支えを担当。「元気ハツラツが取り柄」



現サークル長の齋藤貴成君。見た目はチャライと言われるが「練習メニューなど日々考えています」



佐相美樹さんは、女子たちに慕われる存在。「男子と一緒にの練習は厳しいけれどやりがいがあります」



「自称インテリキャラのコメディアン」沓掛一貴君。「夏の大会ではダブルスで4位に入りました」



佐藤由惟さん(児童学科2年)は学内トーナメント運営も担当。「春からは私たちの代が中心。責任とやりがいを感じます」



周囲への配慮で定評ある佐藤芳緒梨さん(児童学科2年)。「これからは他大学との試合にもどんどん取り組みたいです」



夏と春の2回、3キャンパスのテニスサークルが参加して行われる対抗試合。今年は男子4位(ベスト8入り5ペア)、女子1位・4位という好成績に。



等々力祭では、BOOMのヤキソバ屋台はいつも大盛況。まさに自慢の味。



第83回 世田谷祭

みらいへの想い

第83回東京都市大学世田谷祭 実行委員長 金原 裕樹
知識工学部 自然科学科3年

平成24年11月24日・25日の2日間、世田谷キャンパスにて第83回東京都市大学世田谷祭が開催されました。今年度の学園祭より初の試みとして、3キャンパスで行われる学園祭に共通テーマ「みらいを、つくる。」を掲げました。この共通テーマのもと、世田谷キャンパスでは「僕らの手で夢をかたちに」というテーマを設定し、都市大生がみらいに描いた夢を表現する学園祭を目指しました。

新たな企画として、都市大生が作成した「みらい」をテーマとした都市のジオラマなどを展示した「都市大コンテスト」や、都市大グループの小学校や中学校の生徒に、みらいという題材で描いてもらった絵を展示する「都市大アート」を行い、どちらも好評を博しました。

開催当初こそ小雨が降っていましたが、その後は天候に恵まれ澄み渡るほどの青空のもと、学園祭をより一層盛り上げる事が出来ました。また、土日開催ということと相まって非常にたくさんの方にお越しいただく事が出来ました。

私達はこの1年間、世田谷祭開催に向けて活動を続けて参りました。思うようにいかない事や、やりたくても出来なかった事もありました。しかしその度に仲間と助け合い、励まし合い、時にはぶつかり合いながら乗り越えてきました。この世田谷祭は都市大生がみらいに描いた一つの夢のかたちです。一人ひとりの想いが込められています。そんな想いを少しでも感じ取って頂けたなら、実行委員一同大変嬉しく思います。

最後になりましたが、第83回東京都市大学世田谷祭を開催するにあたりご支援ご協力頂いた皆様、ご来場いただいた全ての皆様に厚くお礼申し上げます。来年度、更なる発展を遂げた世田谷祭を楽しみにしててください！



第4回 等々力祭

第4回東京都市大学 等々力祭を終えて

第4回東京都市大学等々力祭 実行委員長 江口 太章
都市生活学部 都市生活学科3年

今年度の第4回東京都市大学等々力祭は、たくさんの「はじめて」を経て開催されました。等々力キャンパスに初めて4学年が揃い、初めて学園祭として正式に認められて、昨年までの1日開催から初めて2日開催となりました。さらに世田谷、横浜、等々力の3キャンパスで学園祭の共通テーマ「みらいを、つくる。」を掲げ、それを踏まえて各キャンパステーマを設けるというのも、今まで前例がないことです。

今年度の等々力祭のキャンパステーマは「新しいページをめくろう」でした。東京スカイツリーの開業など、世の中で始まろうとしていることも多いなか、2011年の東日本大震災は既に過去のものなのかということに話は及びました。当面の生活・安全の確保は出来ていてもまだ復興は終わっていない、むしろ今年から日常生活に戻るための復興が始まるのだと考えました。今まで日本や世界で起きてきたことがあって今現在の私たちがいること。日々変わっていく世の中で一步一步未来へと進もうとしていること。全てはページをめくっているようにつながっていて、その中で私たちの学部、都市生活学部と人間科学部の特徴を生かして、いま何ができるのか、何を伝えられるのかを話し合い、考えたテーマです。

目玉企画として1日目はチャリティーライブやリクルート企画を開催。2日目は国内外の子供たちのためのボランティア活動を行っている菊池峰子さんの講演会と、中山エミさんによるシャンソンでした。テーマセレモニーとして行ったパルーンリリースでは、多くの人の思いをのせて色とりどりの風船が舞い上がりました。

お越しいただいたお客様に少しでも良かったと思っていただければ学園祭は成功だと思います。しかしそれと同時に、私たちが何を外部へ発信できるのか、どれだけ思いを伝えられるかが学園祭の根本だと私は思っています。

来年も、後輩たちがその年にしかない思いを胸に等々力祭を行ってくださることと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



課外活動短評

- 硬式野球部**……2012年4月7日～5月18日に開催された東都大学野球4部リーグ戦において優勝を果たし、部員内から首位打者、最優秀投手賞、最高殊勲選手賞が選出された。
2012年9月15日～10月25日に開催された東都大学野球4部リーグ戦において優勝を果たし、部員内から最優秀投手賞、最高殊勲選手が選出された。
- 混声合唱団**……2012年7月14日～7月22日に開催された国内最大級の合唱イベントである「東京都合唱祭」に出場し、観客から賞賛を頂いた。
- 航空研究部**……2012年7月28、29日に開催された第35回鳥人間コンテスト(人カプロペラ機ティスタンス部門)に出場し、第8位入賞の結果を収めた。

- 学生団体連合会**……2012年8月31日～9月3日の期間に本学在學生と共に、岩手県遠野市を中心とした沿岸地域の被災地ボランティア(瓦礫撤去や子供達の遊び相手)を実施。
- バドミントン部**……(男子)2012年9月15日～9月30日に開催された関東大学バドミントン秋季リーグ戦において、4部昇格の結果を収めた。
- 空手道部**……2012年10月8日に日本武道館で開催された第55回関東大学空手道選手権大会に勝利し、40年ぶりの全日本大会出場を果たした。
- 剣道部**……2012年10月28日に大阪府立体育館にて開催された第60回全日本学生剣道優勝大会に剣道部創設以来の初出場を果たした。

バンドフェスティバル

音楽を通して、人と人の新しい繋がりが生まれる

平成24年度 文化団体連合会 本部長 西田 千夏
工学部 生体医工学科 3年

平成24年10月16日(火)東京都渋谷区LIVE STAGE GUILTYにおいて文化団体連合会主催のバンドフェスティバルが開催されました。

『バンドフェス』の愛称で親しまれ、年に1度の大きな行事として定着しつつあるバンドフェスティバルですが、当日は150名近い方々にご来場頂き、会場内は身動きが取れない程の大盛況となりました。

バンドフェスティバルは昨年度に引き続き、文化団体連合会所属の全6軽音楽団体が、夏合宿や日頃の練習の成果を発揮すると共に、キャンパスもジャンルも異なる各軽音楽団体の交流を深めることで、更なる演奏技術の向上を目的としています。

今年度は、世田谷キャンパス所属のウエスタンクラブ、フォークソングクラブ、ハワイアンクラブ、パチエラー7、横浜キャンパス所属の音楽団体PLAMの5団体から各2バンド、軽音楽団体スナイパーズから1バンド、計11バンドが出場し、演奏しました。出場したバンドは各軽音楽団体を代表するバンドということもあり、高い演奏技術、ステージパフォーマンスで来場者を魅了しました。

ジャズ、POP、メタルなど様々なジャンルが一堂に会した今回のバンドフェスティバルは出場したバンドの方々だけではなく、来場者の皆様にも楽しんで頂けたのではないかと思います。又、学年、学科、キャンパスを越え、音楽を通し新しい繋がりが生まれたのではないかと思います。

大きな事故もなく2012年バンドフェスティバルを無事終了できたこと、また協力して頂いた沢山の方々には言葉では言い尽くせない程感謝しております。ありがとうございました。



TAKE ACTION!

被災地を目で見て、肌で感じる

平成24年度 学生団体連合会 執行委員長 小口 拓也
工学部 エネルギー化学科 3年

平成24年8月31日(金)～9月3日(月)、東北地方で被災地ボランティアTAKE ACTION!～被災地を目で見て、肌で感じる～を行いました。現地ではガレキ撤去、子供達とふれあうことによる心のケアという2つの活動を行い、私はガレキ撤去に参加しました。

現場で活動の指揮をとった隊長の方は、ガレキ撤去を「家の葬式」のようなものだと言ってくれました。今回私たちが行なった場所は、5年後には重機によってきれいに埋め立てる、という見通しが立てられているそうです。「それならば、今私たちがやっていることは全くの無駄なのではないか」と、参加していた皆が感じたと思います。しかし被災した人々にとって「人の手によって撤去を行ってくれている」ということが何よりも大事なのだと隊長は続けました。ガレキ撤去では具体的に、家屋跡の整地と、土砂によって埋もれた思い出の品の確保という活動が行われます。発見された品はその後、持ち主の元に届けられます。そのように行われる「家の葬式」、それを自分たちのために行ってくれるボランティアの姿、それらから被災地の方は元気を得て過去に区切りをつけ、前を向くことができる。私はその話を聞き、この活動が全く無駄などではなく、とても有意義なものだと感じる事ができました。

本企画を実現できたのは、現場で指揮をとってくれた「遠野まごころネット」様、参加者の皆様、バスの運転手の方、本学の教職員の皆様のおかげと思っております。素晴らしい機会を与えていただき誠にありがとうございました。この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

今年度、初めて行なった企画ではありますが、既に来年度の開催が予想されます。皆様も是非参加してみませんか。スタッフ一同心よりお待ちしております。



事務局 便り

後援会会員の皆様には、日頃から大学行事ならびに課外活動に対して温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。東京都市大学と名称を変更して4年目となり、いよいよ本年度末には第一期生の東京都市大学卒業生を輩出することになります。

後援会では、学生の正課外活動に対して重点的に支援を行ってきており、全学生に対して新入生研修行事や将来へのキャリア活動に対しても支援活動を行っております。また、大学への協力行事の一つとし

て「大学と保護者との連絡会」を年1回秋に、全国主要都市で開催しております。私も9月に地方で開催された連絡会に出席し、多くの保護者の皆様と有意義な意見交換を行うことができました。厳しい就職状況についてのご質問には、大学の就職支援プログラム等の説明と、OB組織である武蔵工業会の支部役員の方からのご説明があり、ご理解のお役に立てたと思います。

今後も社会に貢献する人材を輩出できるよう、教職員が一丸となって学生の教育・指導を行ってまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。



世田谷キャンパス副学生部長
和多田 雅哉
工学部 生体医工学科 教授

◆◆平成24年度◆◆ 「大学と保護者との連絡会」実施結果 ◆◆

平成24年度の「大学と保護者との連絡会」は9月8日(土)から始まり、最終日の10月20日(土)東京・横浜地区までの間、全国20会場において開催されました。各会場の出席状況は以下のとおりで、各地区において理事・評議員の方々には運営等にご協力いただきました。

◆ 会場別出席世帯数 (対象県以外からの出席者を含む)

開催地	開催日	会場名	出席世帯数
札幌	9月15日(土)	札幌全日空ホテル	10
仙台	9月16日(日)	KKRホテル	11
郡山	9月15日(土)	チサンホテル郡山	10
宇都宮	9月16日(日)	チサンホテル宇都宮	27
さいたま	9月15日(土)	ラフレさいたま	35
水戸	9月 8日(土)	三の丸ホテル	36
高崎	9月16日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	26
新潟	9月15日(土)	チサンホテル&コンファレンスセンター新潟	9
世田谷	10月20日(土)	東京都市大学 世田谷キャンパス	835
等々力		東京都市大学 等々力キャンパス	174
横浜		東京都市大学 横浜キャンパス	300
甲府	9月 8日(土)	アーバンヴィラ古名屋ホテル	16
長野	9月 8日(土)	ホテルメトロポリタン長野	17
富山	9月 8日(土)	オックスカナルパークホテル富山	5
沼津	9月 8日(土)	沼津リバーサイドホテル (旧沼津東急ホテル)	30
静岡	9月 9日(日)	ホテルアソシア静岡	33
浜松	9月 9日(日)	ホテルコンコルド浜松	26
名古屋	9月 8日(土)	名鉄グランドホテル	27
広島	9月 8日(土)	ホテルニューヒロデン	12
福岡	9月 9日(日)	ANAクラウンプラザホテル福岡	20
合 計			1,659

◆ 都道府県別出席世帯数

都道府県名	出席世帯数	前年度出席世帯数
北海道	13	8
青森	1	2
岩手	1	0
宮城	11	14
秋田	3	5
山形	5	4
福島	15	12
茨城	67	59
栃木	50	46
群馬	31	35
埼玉	111	100
千葉	71	66
東京	331	317
神奈川	662	574
新潟	14	17
富山	2	9
石川	2	1
福井	3	3
山梨	26	20
長野	28	31
岐阜	6	3
静岡	136	152
愛知	15	18
三重	6	3
滋賀	0	1
京都	1	0
大阪	0	2
兵庫	4	2
奈良	1	1
和歌山	1	0
鳥取	2	1
島根	0	2
岡山	1	1
広島	10	8
山口	5	2
徳島	0	0
香川	0	1
愛媛	0	0
高知	1	1
福岡	11	12
佐賀	1	2
長崎	0	0
熊本	1	1
大分	4	3
宮崎	4	3
鹿児島	2	2
沖縄	0	0
合 計	1,659	1,544

TCU-COM
2013.January

no.
47

発行 **東京都市大学後援会**

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学内 後援会事務局
電話：03(5707)0104 内線：2187 FAX：03(5707)1160
メールアドレス：kouenkai@tcu.ac.jp